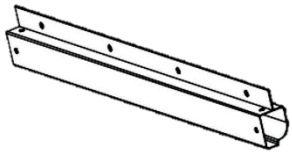
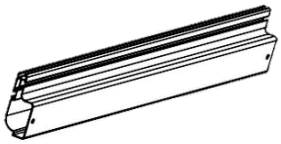
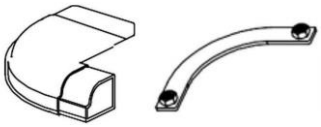
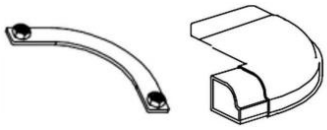
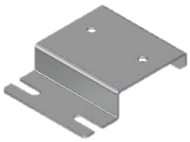
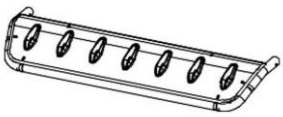
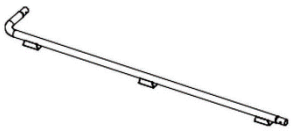
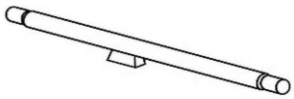
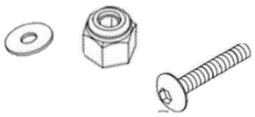
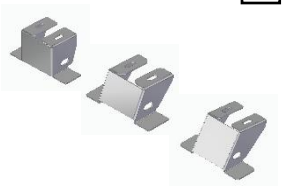
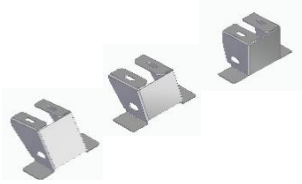
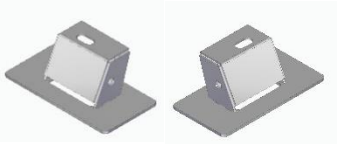
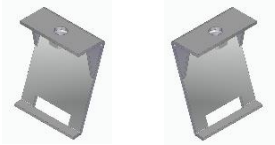
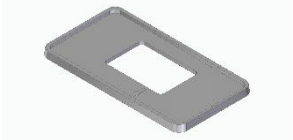
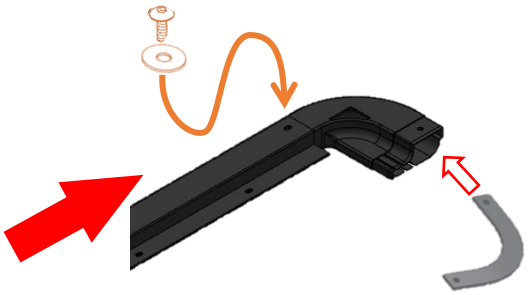
BUSTERS バスターズ 2080HD

前後フレーム　2本 □ 	サイドフレーム □ 運転席側　1本	サイドフレーム □ 助手席側　1本 	底板　7枚 □
コーナーフレームⒶセット 2セット □ 	コーナーフレームⒷセット 2セット □ 	スライドロックプレート 6枚 □ 	サポートバー　6本 □
フェアリング本体　1セット □ 	アッパーレール/サイド 運転席側　1本 □ 	アッパーレール/サイド 助手席側　1本 □	アッパーレール/リア 1本 □ 
①　M6-16mm/T 字ボルト　９６本 M6 フランジナット　９６個 □	②　M6-16mm/六角穴ボルト８本 M6 ワッシャー(大)　８枚 □	③　M6 ワッシャー(小)　８枚 M6 緩み止め付ナット　４個 M6-50mm/六角穴ボルト　４本 □ 	④　M6-20mm/フランジボルト M6 ワッシャー(大)　12 セット □
フットアウター/運転席側 前右・中右・後右　各1個 □ 	フットアウター/助手席側 前左・中左・後左　各1個 □ 	⑤　M8-20mm/六角穴ボルト M8 ワッシャー　12 セット □	
フットベース □ 運転席側/助手席側　各３個 	フットベース/フック □ 運転席側/助手席側　各３個 	フットベースクッション 6枚 □ 	⑥　M8-20mm/六角穴ボルト M8 ワッシャー　６セット □
トーイングアイプレート　８枚 □	⑦　M6-16mm/T 字ボルト　１６本 M6 フランジナット　１６個 □		

①コーナーフレームⒶⒷと前後フレームの組立。

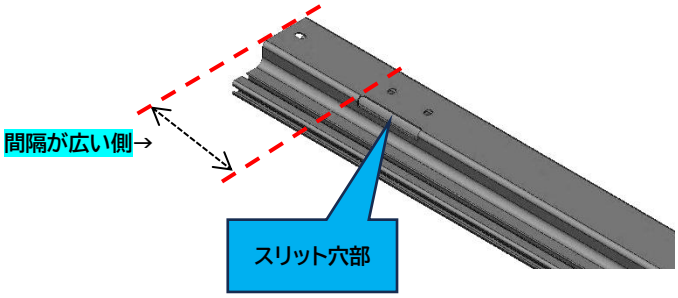
＊裏向きでの作業になります。

②コーナーフレームを前後フレームに差し込んでから、コーナープレートを挿入して、②M６ボルト/ワッシャーで仮締めする。



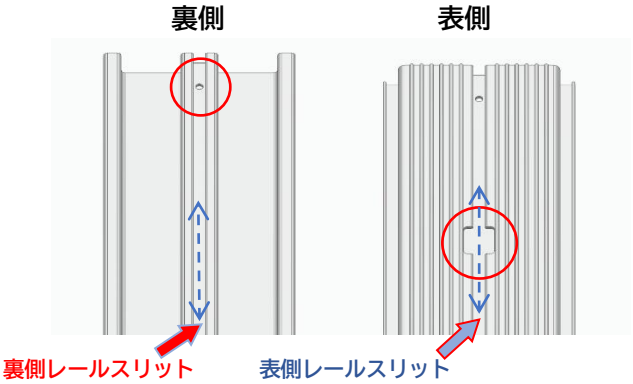
③サイドフレームの前後を確認する。

サイドフレームの端(裏側)から、スリット穴部までの間隔が広い側が車両後方側となります。



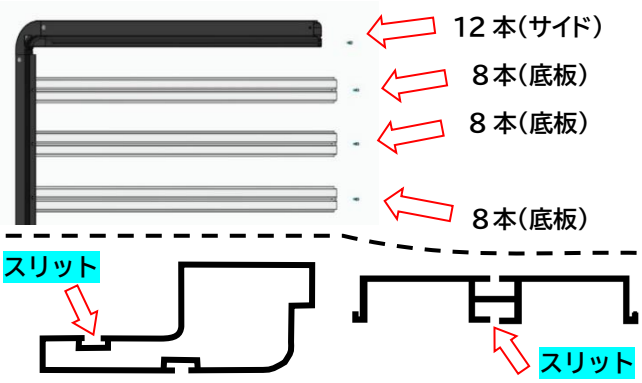
④底板(７枚)の向きを合わせる。

丸穴/切り欠き（表側）がある方を車両後方側とします。



⑤先に組み立てていた前後フレームに、サイドフレームの車両後方側を、差し込んで仮締めする。

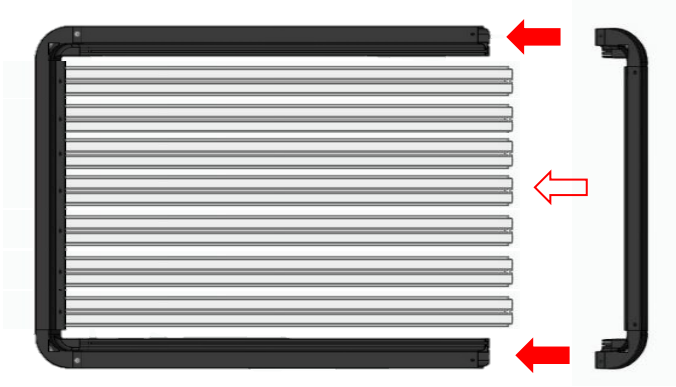
⑥サイドフレームと底板(7 枚)に、①T字ボルトを裏側のレールスリットに、指定の数を挿入する。



⑦前後フレームの取り付け穴に底板を合わせて、底板のスリットに挿入した①T字ボルトを①フランジナットで、前後フレームに底板を仮締めする。

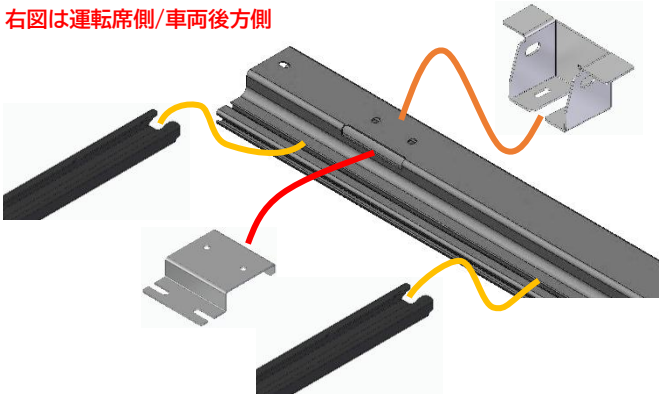
⑧反対側の前後フレームを組み付ける。

サイドフレームと底板をつなぎ合わせ、前後フレームに仮締めする。



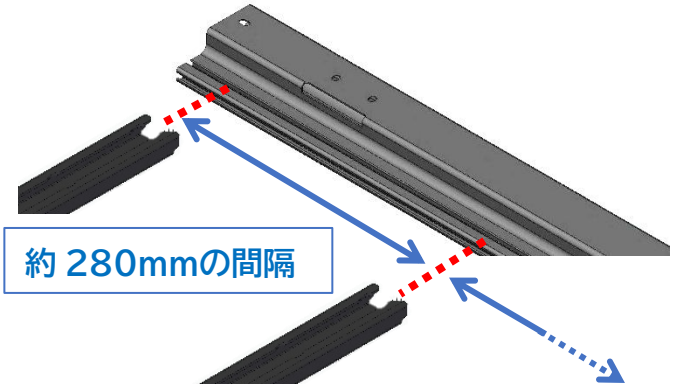
⑨サイドフレームにスライドロックプレートとフットアウター、およびサポートバーを取り付けていきます。

右図は運転席側/車両後方側

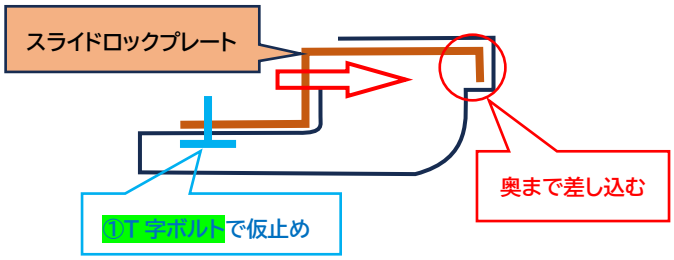


⑩サポートバーの間隔は約２８０mmとなります。

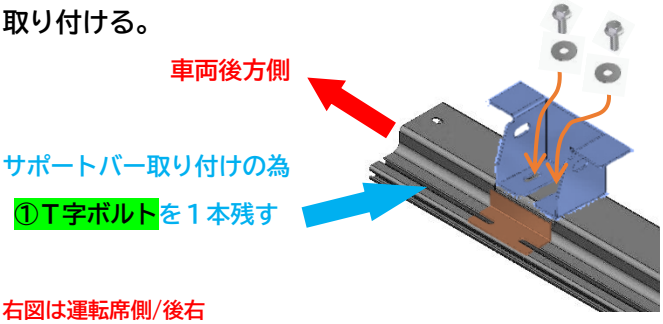
状況に合わせて間隔を調整しても問題はありません。



⑪スライドロックプレートをサイドフレームのスリット穴部に奥まで差し込んで、先に挿入してある①T字ボルトで仮締めする。



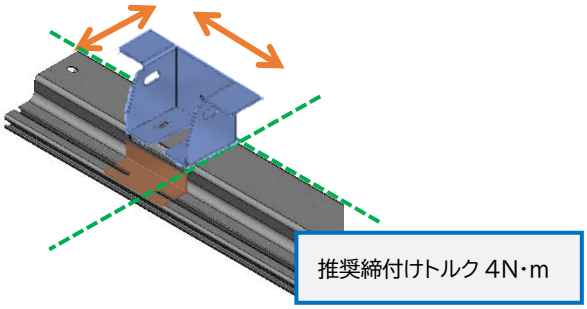
⑫先に差し込んである、スライドロックプレートにフットアウターを④フランジボルト/ワッシャーで取り付ける。



右図は運転席側/後右

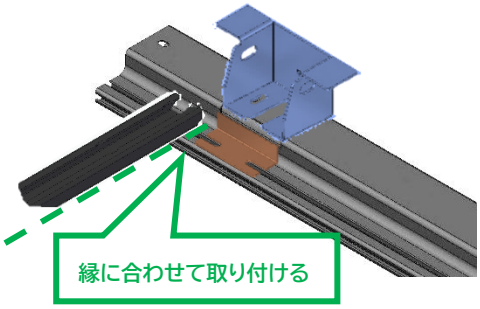
⑬フットアウターの前後左右のバランスを合わせながら、④フランジボルトを本締めします。

締め過ぎないようにご注意ください

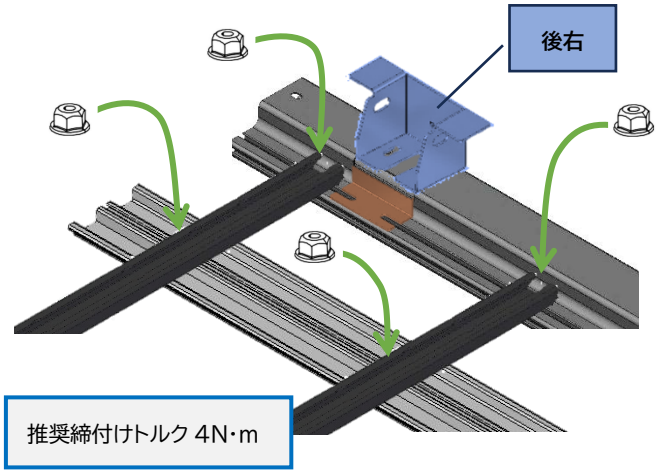


⑭サポートバーを取り付ける。

車両後方側から１番目のサポートバーは図のようにスライドロックプレートの縁に取り付けると、間隔調整の基準になります

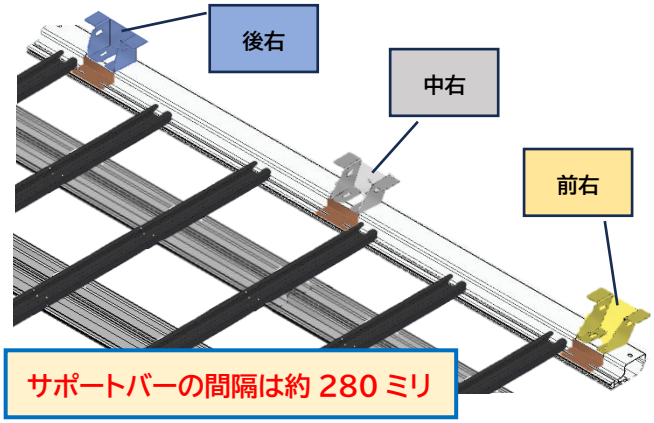


⑮サイドフレームと底板に挿入してある①T字ボルトにサポートバーを①フランジナットで本締めする。



⑯残りのフットアウターとサポートバーを、間隔を合わせながら、各ボルト/ナットを本締めしてください。

サイドフレームには①T字ボルトを取り付ける場所の目安のマーキングがあります。

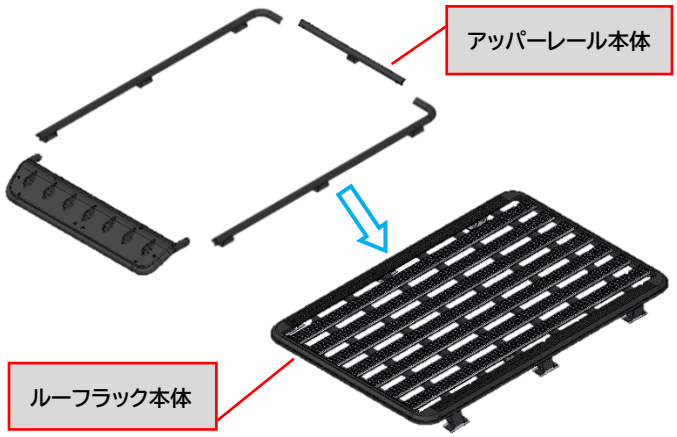


⑰取り付けたボルトやナットの、締め忘れがないかを再度確認してから、ルーフラック本体を慎重に、表向きにして下さい。

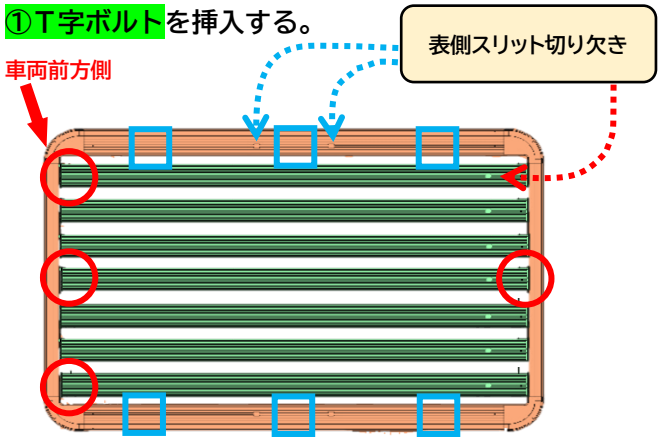
注意

ルーフラック本体は大型のうえ、重量もありますので、必ず２人以上で慎重な作業をお願い致します。

⑱アッパーレール本体を組立て取り付けていきます。



⑲サイドフレームと底板の表側スリット切り欠き部から①Ｔ字ボルトを挿入する。



⑳左右のサイドフレームの□マーク部に①Ｔ字ボルトを各２本/合計１２本を、表側スリット切り欠き部から挿入して仮置きします。

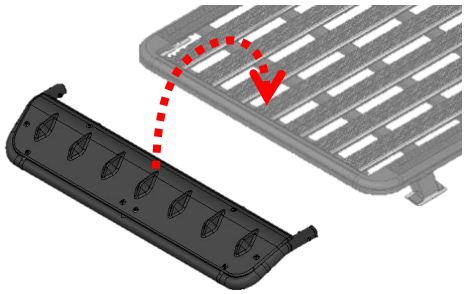
底板の〇マーク部に①Ｔ字ボルトを各１本/合計４本を、表側スリット切り欠き部から挿入して仮置きします。

＊この①Ｔ字ボルトを使ってアッパーレール本体を固定します。

㉑フェアリング本体の取り付け。

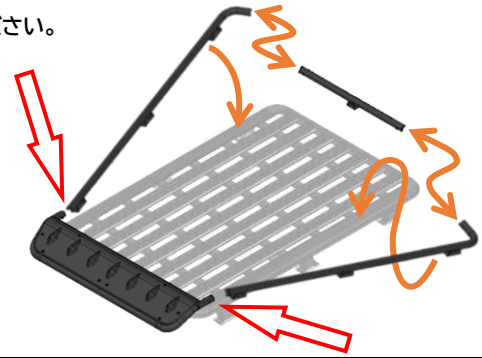
底板に挿入した①Ｔ字ボルトに①フランジナットで仮締めする。

注意：フェアリングが動かせるくらいに、ゆるく仮締めをしてください



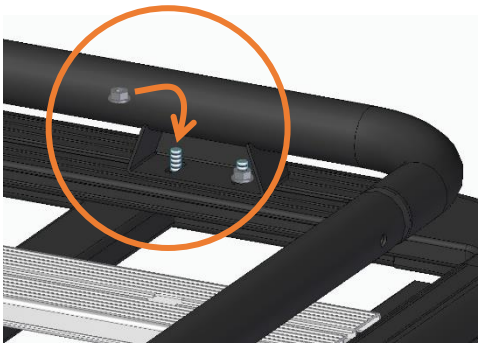
㉒アッパーレールのサイド/リアの取り付け。

フェアリング本体にアッパーレール/サイドを差し込んでから、先に挿入した①Ｔ字ボルトにアッパーレールのフット部を差し込んで取り付けてください。



㉓アッパーレールの各パイプ結合部（４カ所）を、③ボルト/ワッシャー/ナットで仮締めする。

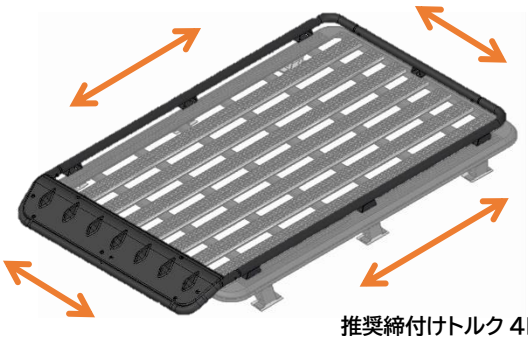
㉔アッパーレールのフット部に挿し込んだ①Ｔ字ボルトを①フランジナットで仮締めする。



㉕アッパーレール本体の固定。

アッパーレール本体を左右前後のバランスを合わせながら、

仮締めした各ボルト/ナットを本締めします。



推奨締付けトルク 4N･m

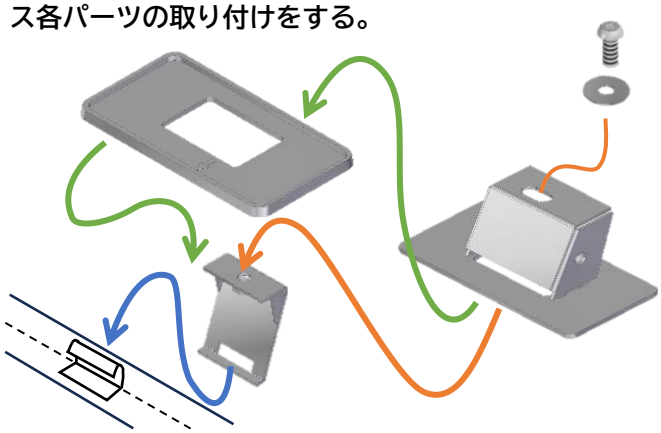
㉖ルーフラック本体の完成です。

㉗任意の場所に【トーイングアイプレート】を取り付けてください。（取り付けなくても問題はありません）

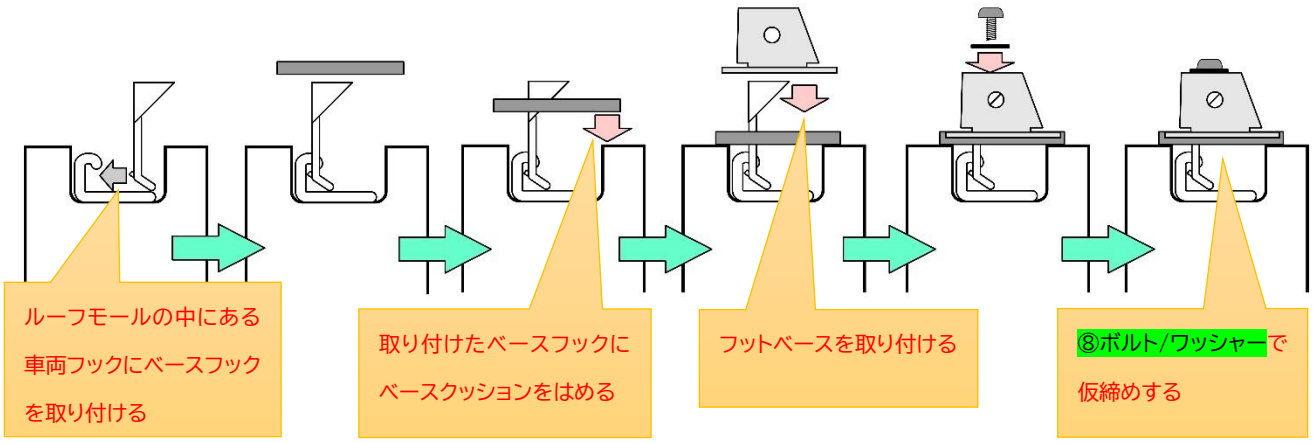
トーイングアイプレートは荷物を固定するロープを取り付けたり、カーゴネットのフックを引っ掛けたりと、使い方は自由自在です。

⑦T字ボルトを底板の表側スリット切り欠き部より挿入し、トーイングアイプレートを使用状況に合わせて位置を決め、⑦フランジナットで締め込んで使用してください。

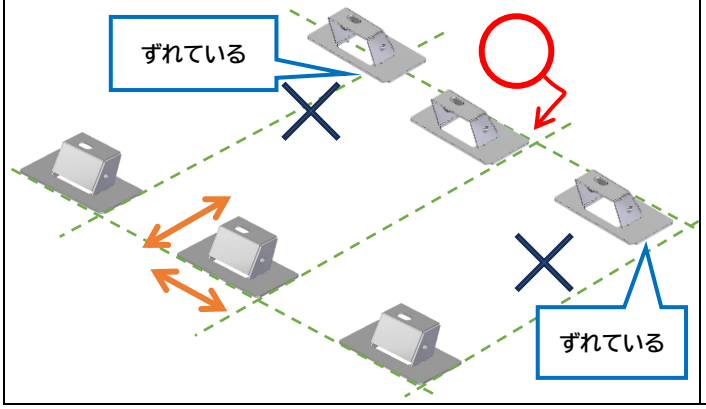
㉘ルーフモールの中にある既存のフックに、フットベース各パーツの取り付けをする。



㉙フットベース組み付け手順。



㉚各フットベースを運転席側/助手席側の位置が同一になるように⑧ボルト/ワッシャーを締め込んで固定する。



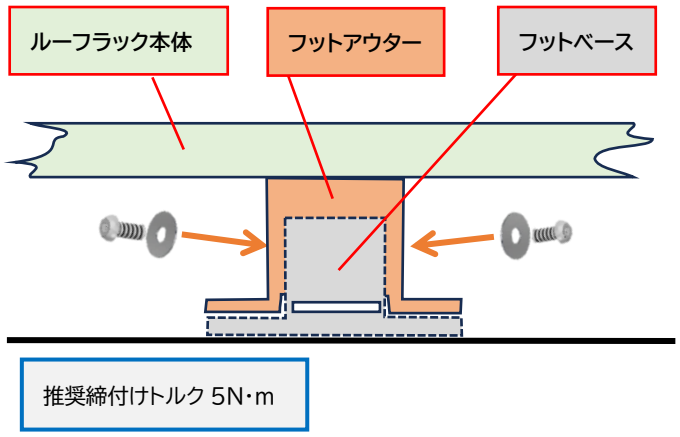
㉛ルーフラック本体を車両に取り付ける。

注意

・ルーフラック本体を車両に載せる際は、危険を伴いますので、必ず２人以上で取り付け作業を行ってください。

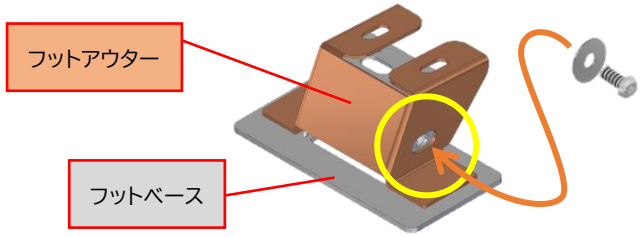
・脚立などを使用する場合は、落下や転倒など、充分注意して取り付け作業をしてください。

㉜ルーフラック本体を固定する。



㉞フットアウターとフットベースを⑤ボルト/ワッシャーでしっかりと締め付けて、ルーフラック本体を固定する

穴位置がまったく合わない場合は、ルーフラック本体を取外してから、フットベースもしくはフットアウターの固定位置を調整してください。



㉟完成

- ボルト類の締め忘れなどがないか、必ず取り付けの確認を行ってください。
- 本体を軽くゆすって、しっかり取り付けられているか確認してください。

注意事項

- 使用耐荷重の範囲内で使用してください(耐荷重:50kg 以内)
- 積載物は分散し、必ずロープやベルト、キャリアネットなどで固定してください。また、フットベースにはロープやベルト、キャリアネットを掛けないでください。
- 一点に重量が集中せず、且つ高重心にならない方法で積載してください。
- アッパーレールはアルミ製です。ラシットベルトなどで無理やり締めると変形します。
- アッパーレールに乗らないでください。乗ると変形します。
- 高さ、長さ制限、頭上障害物などに注意してください。
- 定期的にボルト類の緩みがないか、各部点検、増し締めをしてください。
- ボルトで締め付けることにより、塗装面が剥げてしまう場合があります。その場合は補修ペイントなどで、色塗り補修等をしてください。
- 同様に、飛び石や経年劣化などで塗装面が剥がれた場合も、なるべく早めに補修ペイントなどで、
- 色塗り補修等をしてください。
- 洗車機は破損の原因になりますので、なるべく使用はお控えください。使用する場合は、洗車機がある場所の係員などに使用方法をお尋ねください。
- ケガの原因になりますので、ラック本体に乗るのはなるべくお控えください。